

地域おこし協力隊が〇〇したってよ!  
活動だより



## 総務省の「ムネスマワード」で採択されました

協力隊の木村と八木で取り組んでいる「マスタード事業」が、「地域おこし協力隊ビジネスアワード」に採択されました。総務省が主催するこのアワード(賞)は、全国の協力隊員と、OG・OBの活動が対象。審査には事業の先進性や発展性など6つの評価項目があり、採択された事業は総務省や専門家からの継続的なサポートを受けることができます。今年度は4つの自治体が採択され、そのうちの1つが笛吹市となりました。

先月号のコラムでもお伝えしたとおり、私たちは「笛吹マスタード工房」という名称で、マスタードを生産する6次産業化を目指しています。事業の着想は、高級ワインの産地であるフランスが、マスタードの産地としても有名であることから得ました。マスタードはカラシナの種をブドウ果汁やワインビネガーで漬けたものなので、「ブドウとワインがおいしい笛吹市なら、きっとおいしいマスタードがつくれるはず」と、事業を始めました。ゆくゆくはワインをはじめとする笛吹市の特産品とコラボレーションし、食を通じた地域活性化をしたいと考えています。どうぞ温かい目で見守ってください。



face bookページを作成しました  
QRコード読み取りまたは  
「笛吹マスタード工房」  
で検索

